

# B 組織・運営

## 提言内容

### 学校経営ビジョンの実現に向けた組織の編成と円滑な運営に関する提言

#### 分科会の趣旨

近年、社会や経済が急激に変化する中で、子どもや家庭及び地域社会も大きく変容し、学校を取り巻く様々な課題が複雑化・多様化している。それに伴い学校や教職員だけでは解決できない課題が増えており、学校に求められる役割の拡大と併せて、教職員が子どもと向き合う時間を確保することが大きな課題となっている。

このような状況において、子どもに必要な資質・能力を育み、保護者や地域から信頼される学校づくりを行うために、関係機関との連携や外部人材の活用を含めた新たな取組が求められている。

これらを推進するにあたっては、学校は関係機関や外部人材を含めた一つのチームとして力を発揮すると共に、学校組織全体の総合力を高めていくことが必要となる。教職員と教職員以外の者が連携しながらそれぞれの専門性を発揮していくために、校長の強いリーダーシップとマネジメント力が今まで以上に求められている。

各学校は、子どもたちに生きる力を育むために、それぞれの課題解決に向け、関係機関等との連携や教職員の協働体制などを盛り込んだ学校経営ビジョンを策定しているところである。

そこで、本分科会では、学校経営ビジョンの実現を目指した円滑な組織運営と教職員が子どもと向き合う時間を生み出す組織の編成と運営の工夫について具体的な方策を明らかにし、提言する。

#### 分散会の視点

##### 第3分散会

#### 学校経営ビジョンの実現を目指した円滑な組織運営

校長は、自校の課題を的確に把握し、将来を見据えた学校像や学校教育目標の具現化のための手立てをもつ必要がある。そして、その具現化のための手立てや道筋を教職員だけでなく、保護者や地域住民並びに関係機関にも明示し、学校と連携・協働しながら一つのチームとして経営ビジョンの実現を図らなければならない。

その際、校長のリーダーシップと効果的な組織マネジメントのもと、教職員と教職員以外の者がそれぞれの専門性を組織的に発揮する必要がある。

本分散会では、このような視点に立ち、学校経営ビジョンの実現に向けた、学校・家庭・地域並びに関係機関と連携した円滑な組織運営について協議を深め、校長の役割と指導性を究明する。

##### 第4分散会

#### 子どもと向き合う時間を生み出す組織の編成と運営の工夫

学校を取り巻く様々な課題が複雑化・多様化する中で、教職員が子どもと向き合うための時間の確保が課題になっている。

解消策の一つとして、学校が関係機関や外部人材と連携し、一つのチームとして力を発揮することがあげられ、時間の確保につながると期待されている。

その際、校長のリーダーシップと効果的な組織マネジメントのもと、学校・家庭・地域並びに関係機関と連携した組織運営が必要となる。

本分散会では、このような視点に立ち、チーム学校としての取組を推進し、教職員が子どもと向き合う時間を生み出すことができるような組織の編成と運営の工夫について協議を深め、校長の役割と指導性を究明する。